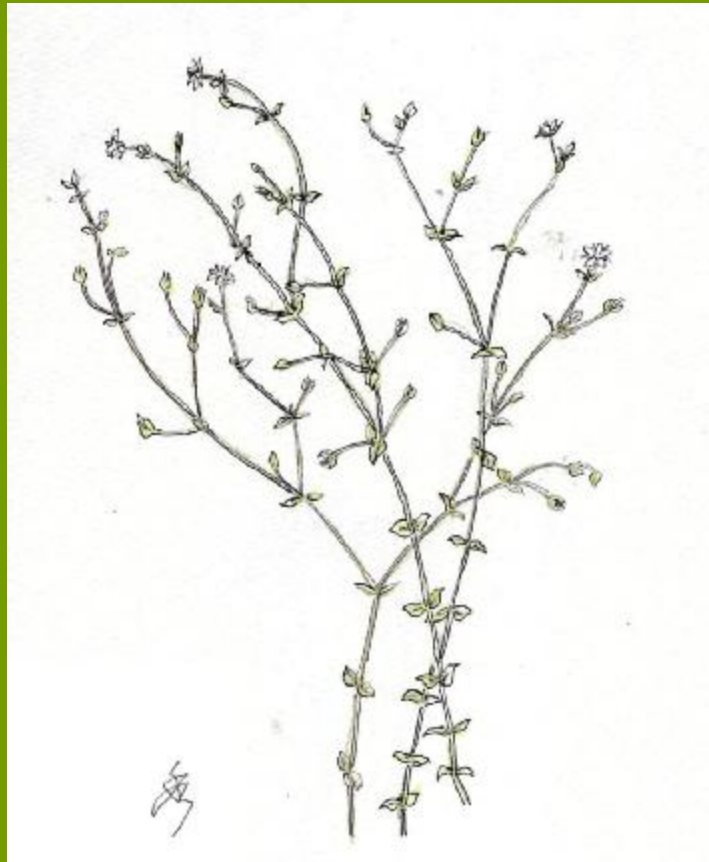


見ぬま田んぼ・野草スケッチ「ノミノツヅリ」

分類： ナデシコ科

属名： ノミノツヅリ属

花言葉： 小さな愛情



団地の庭の通路脇に繁茂していた雑草、野草です。この野草に気が付いたのも小さな小さな白い花が咲いていたからです。サンプルを採集して家でスケッチしました。図鑑やネットで調べてみましたが、名前が断定出来ません。ノミノツヅリ？

スケッチ17.5.2



一見ハコベ?、花びらの先端が割れてる

「ノミノツヅリ」	
世界：	原産地はユーラシアと考えられている
生育地：	北海道から琉球まで日本全土 乾燥した日なたを好み、道路沿いや路上の植生では春には非常によく見られる。裸地に近いところに出ることが多い。特に乾燥したところに出現
茎 丈：	根元ではよく枝分かれし、やや横に伸びる 白っぽい緑色の背の低い草本、 <u>茎</u> は細いが堅く、細かな下向きの毛がある 5-25cm
葉：	葉を対生 葉柄がなく、広卵形から長卵形で、長さ3-7mm、幅は1-5mm
花期：	3-6月 枝先に多数つく 春
花・花色：	五枚の萼と花弁 花弁は倒卵形で先が丸く、白色
種子：果実	卵形で長さ3mm、六つに裂けて種子を散布 種子は腎臓型で長さ0.3-0.5mm
特徴：	越年生
由来	綴りとは短衣のこと、その小さな葉をノミの衣服にたとえたものである
春の記事と写真は「和蘭」 記事はウィキペディアより 20.2.6	